

南京航空航天大学

2012 年硕士研究生入学考试初试试题 (A 卷)

科目代码： 624 科目名称： 基础日语 满分： 150 分

注意： 认真阅读答题纸上的注意事项； 所有答案必须写在答题纸上，写在本试题纸或草稿纸上均无效； 本试题纸须随答题纸一起装入试题袋中交回！

一 . 文字と語彙 (30 点)

問題 . 次の語句の漢字に振り仮名をつけなさい。(0.5 点 × 20 = 10 点)

猥雑 ()	粹 ()
胸裏 ()	糧 ()
惣菜 ()	歪 ()
愚劣 ()	瞼 ()
咀嚼 ()	藪 ()
鬱蒼 ()	雅 ()
桔梗 ()	蘇芳 ()
怠惰 ()	溺愛 ()
忌憚 ()	倨傲 ()
奇矯 ()	豊頬 ()

問題 . 次の語句の片仮名部分を漢字に直しなさい。(1 点 × 20 = 20 点)

これはクソチカラ () がちっとも出さなくて済むことだ。

軍事的緊張が高まり、セツパク () した状況になった。

窓の外、遠くて海が濃い灰色にナミダッテ () こわいくらいにさされくだって見える。

維新前、「穢多」のように賤民とされた階層の人々がその身のスジョウ () を隠すよりほかにない。

わか雨が来たら、イナズマ () が走り、雷鳴が轟きます。

彼は作家志望のミレン () を断ち切って就職した。

イブクロ () いっぱいにえさを飲み込み、草の露を吸って満腹した鳥たちは重くなった体を、木立に宿して休息している。

今日は好天に恵まれ、あたたかも日曜のこととてコウラクチ（ ）も賑わいを見せている。

この絵は洋風的なもので、金色のガクブチ（ ）とはよく馴染む。

試験が終わって、ノドカ（ ）な気持ちで一日を送る。

いまの説明を聞いただけではまだシャクゼン（ ）としないものがある。

この大本山での修行はシュンレツ（ ）を極めると聞いている。

まあ私などはシヨクギョウガラ（ ）とかくことを悪いほうに考えてしまいがちなのです。

離合集散は人の世のならいであるが、ましてレイサイ（ ）なるわが社のごときは、人材がとどまらないのは当然である。

僕なんぞはいくらいたずらしたって、ケツパク（ ）なものだ。

仕事にボットウ（ ）することは尊いと思うが、体をこわして間で仕事をするのは主張したくない。

東京の雑食性の基礎は、この時期にジヨウセイ（ ）されたものと思われます。

この瞬間、ぼんぼりの灯も、人々の雑踏もアトカタ（ ）もなく消え去った。

道がつづら折になって、目的地に近づいたと思うころ、アマアシ（ ）が杉の密林を白く染めた。

下を覗くと美しい谷が目の届かないほど深かったが、私は肌にアワツブ（ ）を拵えてかちかちと歯を鳴らして身ぶるいした。

二．文法（30点）

問題 . 次の語群から適当な傾向を表す表現を選び、下線部に入れて文を完成しなさい。必要な場合は適当な活用形にして入れなさい。選択肢は一回のみ使うこと。（1点×10＝10点）

となく、何が何でも、ただ、控える、ただし、よくも、だけに、ともなく、にしては、次第、

お正月を目の前に_____どの家庭も掃除と買い物に慌しく見える。
結婚後5年目に子供が生まれた、諦めかけていた___喜びも大きかった。
腹が立ったとき、手当たり_____に物を投げつける。
明日九時に集合します。_____雨の場合は中止します。
彼は_____の新人ではない。
明子は悩んでいた。その心は日に幾遍_____変った。
誰が言い出す_____瀬川丑松の噂を始めたのであった。
_____これだけ食べたものだ。
始めたばかり_____ずいぶん上達したものだ。
こんなことをやるのは、_____だめだ。
こんなことをやるのは、_____だめだ。

問題 次の言葉を使って完全な文を作りなさい。(2点×10=20点)

- ～ともすれば
- ～ずして
- ～まくる
- ひと肌ぬぐ
- 眉に唾をつける
- ～でもするように
- 今でこそ
- ～ないまでも
- ～を余儀なくされる
- ～でいる

三．読解(20点)

問題 次の文章を読んで、 から までの質問に答えなさい。(~ 2
点×2=4点、 ~ 4点×4=16点)

青年と老年

小林秀雄

「つまらん」と言うのが、亡くなった正宗さんの口癖であった。「つまら

ん、つまらん、つまらん」と言いながら、何故、ああ小まめに、飽きもせず、物を読んだり、物を見に出向いたりするのだろうかといぶかる人があった。

() 「つまらん」と言うのは「面白いものはないか」と問う事であろう。

正宗さんという人は、死ぬまでそう問いつづけた人なので、老いていよいよ「面白いもの」に関してぜいたくになった人なのである。私など、過去を顧みると、面白い事に関し、ぜいたくを言う必要のなかった若年期は、夢の間に過ぎ、面白いものを、苦勞して捜し回らねばならなくなって、初めて人生が始まったように思うのだが、さて年齢を重ねてみると、やはり次第に物事に好奇心を失い、言わば貧すれば鈍すると言った惰性的な道をいつの間にか行くようだ。() いつの間にか鈍する道をうかうかと歩きながら、当人は次第に円熟して行くとも思い込む、そんな事にも成りかねない。どこかのある名高い上人が参内する姿を見て、ある人が「あな、たふとのけしきや」と感嘆したところが、それを見ていた日野資朝が「年のよりたるに候」と言った、という話が徒然草にある。資朝は別段 意地の悪い見方をしたのではあるまい。老年は老年で、さっぱりと健全に過ごすという事は、容易な事ではないらしい。徒然草のことを言ったからついでに言うと、兼好は、こういう事を言っている。死は向こうからこちらへやってくるものと皆思っているが、そうではない。実は背後からやって来る。沖の干潟にいつ潮が満ちるかとは皆ながめているが、実は湖は磯の方から満ちるものだ。この鋭い観察を現代風に翻訳すると、こういう事になるだろう。自然は、生物の成長の準備をするが、ある時期が来れば死の準備をするであろう。この着々と持続的に営まれる準備は、自然の準備たる点で 同質のである、と。生物学の知識をしこたま抱えてみたところで、兼好の気づいていたところに気が付くとは限るまい。死は向こうから私をにらんで歩いて来るのではない。私のうちに怠りなく準備されているものだ。 私が進んでこの準備に協力しなければ、私の足は大地から離れるより他はあるまい。 死は、私の生に反した他人ではない。やはり私の生の知恵であろう。兼好が考えていたところも、恐らくそういう気味合いの事だ。でなければ、あれほど世の無常を説きながら、現世を生きる味わいがよく出た文章が書けたはずもない。

問題 ()に入るのはどれか、最も適切なものを次から一つ選びなさい。

- | | |
|----------|---------|
| 1. しかし | 2. だから |
| 3. そうすると | 4. ところで |

問題 ()に入るのはどれか、最も適切なものを次から一つ選びなさい。

- | | |
|----------|----------|
| 1. そうすれば | 2. ところで |
| 3. それだけに | 4. のみならず |

問題 下線 は、どのような見方か、次から選びなさい。

1. 高名の上人の姿を「老いぼれ」や「もうろく」現象としてとらえる見方。
2. 高名の上人の姿を立派にとらえる見方。
3. 高名の上人の姿を非難すべきだという見方。
4. 高名の上人の姿を尊敬する見方。

問題 下線 は、何と何が同質であるのか、本文中から抜きなさい。

問題 下線 はどういうことか、簡潔に説明しなさい。

問題 下線 の意味を簡単に説明しなさい。

四．翻訳(40点):

問題 次の古文を現代日本語に訳しなさい。(15点)

香炉峰の雪 (『枕草子二百八十段』)

雪のいと高う降りたるを、例ならず御格子まゐりて、炭櫃に火おこして、物語などしてあつまりさぶらぶに、「少納言よ。香炉峰の雪いかならむ」と仰せらるれば、御格子上げさせて、御簾を高くあげたれば、笑はせたまふ。人々も「さる事は知り、歌などにさへうたへど、思ひこそよらざりつれ。なほこの宮の人にはさべきなんめり」と言ふ。

(『新編日本古典文学全集 枕草子』小学館 1997 年 11 月)

問題 次の古文を現代日本語に訳しなさい。(15 点)

竹取物語

いまはむかし、たけとりの翁といふものありけり。野山にまじりて竹をと
りつつ、よろづのことにつかひけり。名をば、さぬきのみやつことなむいひ
ける。その竹の中に、もと光る竹なむ一すぢありける。あやしがりて、寄り
て見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつく
しうてゐたり。翁いふやう、「我朝ごと夕ごとに見る竹の中におはするにて
知りぬ。子になりたまふべき人なめり」とて、手にうち入れて、家へ持ちて
来ぬ。妻の嫗にあづけてやしなはす。うつくしきこと、かぎりなし。いとを
さなければ、籠にいれてやしなふ。

(『新編日本古典文学全集 竹取物語』小学館 1997 年 11 月)

問題 次の和歌を現代日本語に訳しなさい。(5 点×2=10 点)

1 . 春過ぎて夏来にけらし白妙の衣ほすてふ天の香具山

(持統天皇 新古今集卷三夏・一七五)

2 . 花の色はうつりにけりないたづらにわが身世にふるながめせしまに

(小野小町 古今集卷二春下・一一三)

五 . 作文 (500 字ほど 30 点)

テーマ： 現代中国における文化の国際化の重要性